

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団 2018（平成30）年度事業報告

〔2018（平成30）年4月1日～2019（平成31）年3月31日〕

トピックス

西日本豪雨災害救援金・北海道地震救援金



西日本各地を襲った豪雨により、7月9日付夕刊から「西日本豪雨災害救援金」の募集を開始。9月4日に第1次贈呈分として日本赤十字社岡山県支部、同広島県支部、愛媛県に3,000万円を寄託したのをはじめ、2019年3月1日にも第2次分として同岡山県支部、同広島県支部、愛媛県へ1,000万円を寄託した。これまでの贈呈総額は4,000万円となった。

また、北海道胆振東部を襲った震度7の地震により、「北海道地震救援金」の募集を9月8日付朝刊から始め、11月2日に第1次贈呈分として厚真町へ1,000万円、19年3月1日にも第2次分250万円を同町へ寄託した。贈呈総額は1,250万円となった。



配食サービス車を「アテラーノ旭」に贈呈

国際高齢者年の1999年から始まった配食車贈呈事業は、3月から毎日新聞紙上などで一般公募し、11団体から応募があった。6月に外部識者による選考委員会を開き、高知市のNPO法人「アテラーノ旭」に決定。9月27日に同法人にて「毎日ふれあい号」の贈呈式が行われた。

世界子ども救援キャンペーン



40年目を迎える本キャンペーンは、8月2～31日の期間、大阪本社社会部・千脇康平記者と写真部・木葉健二記者をイラク北部に派遣。「暴虐の傷痕 イラクIS後」のタイトルで、暴力が吹き荒れた後のイラクで懸命に生きる子どもたちの姿を中心に、9月24日付朝刊から6回にわたる連載とともに、10月13日と24日には見開き特集を掲載。また、東京本社からも内戦が続く南スーダンに特派員を派遣し、「独立の果てに 南スーダン難民報告」のタイトルで6月23日付朝刊から5回の連載と7月5日に見開き特集、7月24日と9月3日に1ページ特集を掲載し、「世界子ども救援金」を募集した。

各公益事業ごとの事業報告詳細

(1万円以下は切り捨てて表示しています。)

公益事業 1 国内外の福祉に関する事業

(事業種別3, 4, 6, 7, 11, 12, 15)

「社会福祉のために」などと寄せられた一般寄付金は、3月末日現在で357件3,225万円(前年358件4,225万円。※小児がん征圧募金を含む)。歳末の「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」の売り上げと歳末義援金の合計2,831万円と併せて、総計1,174件6,056万円(前年1,245件7,088万円)となった。これらの寄託金をもとに次の事業を行った。

児童福祉に関する事業

主催事業 (主催公演事業 事業区分17)

◎第27回そよかぜ杯ボウリング大会 (支払負担金より54万円を支出)

6月24日、大阪市北区の桜橋ボウルで近畿各地の交通遺児をはじめ、病気や災害遺児らとその家族など83人が交流。大阪交通遺児を励ます会と共催。開催経費54万円を分担助成した。

◎施設児童就職予定者研修会・施設から就職する生徒に祝い金贈呈

(支払負担金より99万円を支出)

大阪府下の児童福祉施設から中学、高校などを卒業して就職する生徒を対象に、社会人としての心構えなどを学ぶ研修会を2月10日、大阪市天王寺区で開催した。また、施設から高校、短大を卒業して就職する99人(対象者全員)に激励の意味を込めて祝い金を1人1万円ずつ贈呈。大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部、大阪府社会福祉協議会と共催。

(研修会は1975年～・祝い金は1962年～)

共催分担金事業(その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分18)

◎ゆうゆう(フレンドシップ)キャンプ (支払負担金より40万円支出)

被虐待児童を対象に、共同生活を通じて自立心や社会性を育てることを目的とした1997年からの継続事業。8月9、10日に大阪府岬町の大阪府立海洋センターで1泊2日のキャンプを実施。11月3日に大阪府河南町のワールド牧場、2019年2月3日には大阪市港区の八幡屋公園、大阪プールアイススケート場で野外活動を行った。大阪府青少年活動財団と共催。主催者分担金として40万円を支出した。

◎第51回ハチ北林間ホーム (支払負担金より10万円を支出)

8月7～9日、大阪市が管轄する児童福祉施設の6年生ら40人を、兵庫県香美

町のハチ北高原に招待。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。開催経費 10万円を分担助成した。

◎第50回新春こども大会 (支払負担金より10万円を支出)

1月27日、大阪市が管轄する児童福祉施設の子どもたちが冬休みに練習した踊りや演劇などを発表する「新春こども大会」を大阪市の天王寺区民ホールで開催。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

◎第33回駅伝・ロードレース大会 (支払負担金より5万円を支出)

2月9日、大阪市が管轄する児童福祉施設の小・中学生約250人が参加する「駅伝・ロードレース大会」を大阪府吹田市の弘済小中学校グラウンドにて開催。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

(キャンペーン事業 事業区分8)

◎母の日・父の日募金キャンペーン (支払助成金より180万円を支出)

「プレゼントをあげる親がもういない」という声をきっかけに、親を亡くしたり、一緒に暮らせない子どもたちへの支援にかえる本キャンペーンは、5月9日付と6月14日付朝刊で募金を呼びかけ、71件180万円が寄せられた。CVV(社会的養護の当事者支援活動)、子どもセンターぬつく、チャイルド・リソース・センターに各30万円、あしなが育英会に90万円を贈呈した。

児童福祉特定団体助成・支援事業(文末カッコ内は支払助成金または分担経費)

*母子生活支援施設「母と子の一泊旅行」=7月7~8日、大阪府内の2民間母子寮の親子40人を、和歌山県の白浜温泉と白浜アドベンチャーワールドへのバス旅行に招待。大阪府民間母子生活支援施設連絡協議会の主催。本団が単独で助成後援した。(28万円)

*琵琶湖セツルの家=7月1日~8月31日、滋賀県大津市の琵琶湖畔に宿泊施設を開設し、保育所、児童館、子供の家などの利用者に開放。大阪市地域福祉施設協議会の主催。本団が単独で助成後援した。(8万円)

*自立支援研修(いずみサロン・職業体験実習・自立支援ブック作成)=7月7日~2019年2月2日、名古屋市内の児童養護施設で暮らす中学3年~高校3年生までを対象に、調理実習や職業体験を通じて自立と就労についての研修を4回行う。昭徳会「就労支援事業サポートいずみ」の主催。本団が助成後援した。(39万円)

*ふれあいキャンプ=8月18~20日、小学1年生以上の里子を対象としたキャンプを神戸市灘区の六甲山YMCAで開催。毎日新聞社とともに愛の手運動(里親さがし運動)を展開する家庭養護促進協会が主催。本団が単独で助成後援した。(18万円)

* 第65回児童福祉施設スポーツ大会＝8月22～23日、名古屋市の大高緑地公園野球場で開催。本団が助成後援した。(1万円)

* 講演会「困っている子どもの背景と支援～コグトレを使った具体的支援～」＝9月22日、立命館大学教授で児童精神科医の宮口幸治さんを招き、社会、学習、身体の三方面から認知機能をトレーニングし、子どもを支援する包括的プログラム「コグトレ」を使った具体的な関わり方を、児童福祉施設や児童相談所職員等を対象にアドバイス。大阪市天王寺区のホテルアウィーナ大阪で開催。大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部の主催。本団が単独で助成後援した。(50万円)

* 第46回北摂子ども大会＝12月2日、北摂地域の児童養護施設などに暮らす子どもたちのスポーツ大会を大阪府茨木市の中央公園(北)グラウンドで開催。北摂児童施設連盟の主催。本団が単独で助成後援した。(10万円)

* 児童福祉施設に絵を贈る運動＝12月末、子どもたちの情操教育の一環として「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」に寄せられた作品から絵画6点を愛知・岐阜・三重県内の児童養護施設に贈った。また、3月にも鳥取県内の児童福祉施設3カ所に絵画3点を贈呈した。

高齢者福祉に関する事業

主催事業(助成「応募型」事業 事業区分13)

◎配食サービス車贈呈事業 (支払助成金より177万円を支出)
※トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

医療福祉に関する事業

(キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8)

◎小児がん征圧キャンペーン (支払助成金より660万円を支出)

1996年から毎日新聞社と展開している「生きる－小児がん征圧キャンペーン」と連動した「小児がん征圧募金」は、4月から2019年3月末までに大口寄付の1件2,500万円を含む65件2,584万円(前年81件2,321万円)が寄せられた。3月に贈呈式を開き、次の11団体に各60万円ずつ計660万円を贈呈した。

1. チャイルド・ケモ・ハウス(神戸市)
2. 日本クリニクラウン協会(大阪市)
3. 近畿小児血液・がん研究会(大阪府吹田市)
4. 京都大学医学部附属病院小児科ボランティアグループ
「にこにこトマト」(京都市)

5. 京都ファミリーハウス（同）
6. あいち骨髄バンクを支援する会（名古屋市）
7. 守口ぶどうのいえ（大阪府守口市）
8. T S U R U M I こどもホスピス（大阪市）
9. J H D A C（Japan Hair Donation&Charity）（同）
10. しぶたね（大阪府大東市）
11. ぷくぷくばるーん（名古屋市）

（特定費用準備金から指定正味財産へ7,952万円を移し替え）

なお、上記、2,584万円の内2,500万円は「AK基金4（AK4）」とし、特定費用準備資金「AK基金1（AK1）」「AK基金2（AK2）」「AK基金3（AK3）」の残額5,452万円と合わせた7,952万円を、指定正味財産（小児がん征圧基金）に移し替え、19年度から新たに29年度までの11年間、下記の内訳をもとに、小児がんの子どもたちの支援や医療研究に取り組む団体に贈呈する。

AK基金(AK1)(AK2)(AK3)(AK4)各年度別支出計画（経費含む）

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
AK1	334万	334万	334万	334万	334万	334万	334万	336万				
AK2		164万	164万	164万	164万	164万	164万	162万	498万	499万		
AK3			183万	183万	183万	183万	183万	183万	183万	183万	683万	
AK4				120万	120万	120万	120万	120万	120万	120万	120万	520万
	334万	498万	681万	801万	801万	801万	801万	801万	801万	802万	803万	520万

AK基金(AK1)(AK2)(AK3)(AK4)各年度別支出計画（経費含む）

	28年	29年	合計
AK1			2,674万
AK2			2,143万
AK3			2,147万
AK4	520万	500万	2,500万
	520万	500万	9,464万

心身障害者福祉に関する事業

（その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分18）

共催分担金事業

◎第31回専門点訳・音訳講習会（支払負担金より100万円を支出）

専門図書の点訳、音訳の技術を修得するための講習会で、受講後は点訳・音訳ボランティアとして活躍してもらおう。日本ライトハウス情報文化センターと共催。

- ① 専門音訳講習会「英語コース」、5月11日～6月29日、全7回、10人
- ② 専門音訳講習会「東洋医学コース」、6月15日～7月27日、全7回、11人
- ③ 専門点訳講習会「英語点訳コース」、7月3日～8月28日、全7回、22人

- ④専門点訳講習会「教科書・教材点訳実践コース」
理科、10月3日、10人。社会、4日、6人。その他（音楽・美術など）、5日、2人。国語、9日、6人。英語、9日、9人。算数・数学、10日、14人。

◎第21回視覚障害者ICT・サポートボランティア講習会

（支払負担金より30万円を支出）

1997年度からの継続事業で、視覚障害者の情報環境を支える機器（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー）を利用する視覚障害者に、操作方法などを教える指導者養成のための講習会。日本ライトハウス情報文化センターと共催。

- | | | |
|--------------|--------------------------|-----|
| ① 5月12日 | 開講式、UDCast体験会 | 25人 |
| ② 5月19日 | ブレイルメモスマート講習会 | 3人 |
| 12月15日 | 同 | 5人 |
| ③ 5月26日 | ICTサロン MW10体験会 | 11人 |
| ④ 6月9日 | Rivo2 説明会 | 32人 |
| ⑤ 6月23日 | ネットショッピング講習会 | 8人 |
| ⑥ 7月28日 | iPhone体験講習会 | 28人 |
| ⑦ 8月23日 | PTR新機能説明会 | 20人 |
| ⑧ 10月27日 | サピエ講習会 | 5人 |
| ⑨ 2019年1月26日 | NTTドコモ iPhone体験講習会 便利活用編 | 28人 |
| ⑩ 2019年2月2日 | ブレイルセンスポラリスセミナー | 48人 |

◎「声の点字毎日」の発行

（支払負担金より10万円を支出）

全国の国立ハンセン病療養所で生活している視覚障害者に、無料で点字毎日の「声の点字毎日デイジー版（月2回発行）」を寄贈する事業は、50年の節目を迎えた。費用の一部を、東京・西部社会事業団とともに10万円ずつ分担した。

（表彰、コンクール事業 事業区分14）

◎第87回全国盲学校弁論大会

（支払負担金より20万円を支出）

10月5日、福島市の複合施設「コラッセふくしま」で開かれ、大阪府立大阪南視覚支援学校高等部専攻科柔道整復科1年の阿部亮介さん（22）が優勝した。毎日新聞社点字毎日、全国盲学校長会と共催。本団は2002年度から共催に加わり、費用の一部を、大阪・東京社会事業団が20万円、西部社会事業団も10万円分担した。（1928年～）

心身障害者特定団体助成・後援事業（文末のカッコ内は：支払助成金）

* 第53回全大阪ろう社会人軟式野球秋季大会＝7月22、29日、大阪府久宝寺緑地公園軟式野球場などで開催。本団が助成後援した。（レプリカ代1万円）

* 第43回わたぼうし音楽祭＝8月5日、奈良市の奈良県文化会館で開かれ、わたぼうし大賞に群馬県藤岡市の新井美妃さん（48）作詩、同市の新井研二さん

(32)作曲の「樹になった鳥」が選ばれた。奈良たんぼぼの会主催で、毎日新聞社とともに本団が助成後援した。(大阪20万円・東京10万円・西部5万円)

*第46回愛知心理療養キャンプ=8月18~23日、愛知県蒲郡市の蒲郡ホテル別館で開催。本団が助成後援した。(3万円)

その他の社会福祉事業団体の事業助成

(助成(応募型)事業 事業区分13)

◎公募福祉助成金 (支払助成金より90万円を支出)

国内外の地域で福祉活動に取り組む団体や先駆的事业でどこからも援助がない団体などへ、一般公募から選考委員会の審議を経て事業助成を行う。歳末たすけあい運動と連動して紙面告知し、申請のあった27団体の内、下記7団体に総額90万円を贈呈した。

1. みみっとの会(岡山県笠岡市)	14万円
2. LFA食物アレルギーと共に生きる会(大阪府吹田市)	14万円
3. 子ども食堂スマイルシード(大津市)	14万円
4. 家庭問題情報センター大阪ファミリー相談室(大阪市)	14万円
5. なごみの里(岡山市)	10万円
6. Woman's Ship(大津市)	10万円
7. 和の心(大阪府茨木市)	14万円

*名古屋市視覚障害者協会の機関紙「のぞみ」39号発行

1月に発行する「のぞみ」の費用を助成した。(支払助成金より3万円を支出)

その他目的を達成するために必要な事業

(表彰、コンクール事業 事業区分14)

◎第48回毎日社会福祉顕彰 (支払負担金より166万円を支出)

毎日新聞大阪社会事業団創立60周年記念事業として始まり、社会福祉の分野で献身的な活動をしている個人、団体を顕彰する。毎日新聞紙上などで3月から公募し、5月末に応募を締め切り、厚生労働省や大学教授らからなる審査委員会を経て、次の3件(2団体・1個人)が選ばれた。贈呈式は10月31日に東京都内のレストラン「アラスカ」で行われ、賞牌と賞金(1件につき100万円)を贈った。

◇特定非営利活動法人「在日外国人教育生活相談センター・信愛塾」

=竹川真理子センター長(横浜市)

在日韓国人の暮らしを支援するため1978年、横浜中華街で発足。学習支援や在日外国人相談などの活動を徐々に広げ、支援する子どもの国籍は中国やフ

ィリピンなど時代を経て増えていった。行政機関と連携し、保護者が抱えるさまざまな問題にも根気よく寄り添う。

◇奥地圭子さん＝特定非営利活動法人「東京シューレ」理事長（千葉県松戸市）
長男の不登校経験から、不登校の子ども居場所となるフリースクールを1985年、東京都北区に開設し、今では都内と千葉県の4カ所。家庭を中心に学び育つ「ホームシューレ」や「シューレ大学」、「東京シューレ葛飾中学校」に加え、「不登校新聞」発刊に取り組み、全国的な活動にも尽力した。

◇社会福祉法人「岩手愛児会」＝藤澤昇理事長（盛岡市）
結核児童の療育と福祉向上を目的に1956年設立。「子どもこそ原点」の基本理念のもと、東北で2番目となる児童心理治療施設をはじめ、こども病院や小規模の児童養護施設など、時代のニーズを先取りして開設。結核児、虚弱児・病児、発達障害児、被虐待児などのサポートが必要な子どもを療育し、社会に送り出してきた。

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

◎歳末たすけあい運動

11月9日～12月21日にかけて「歳末義援金募集」や「チャリティー名士寄贈書画工芸作品 入札・即売会」などの催しを実施。義援金や収益金は、今後1年間の社会福祉事業に役立てられる。

* 歳末義援金募集

社告や特集の掲載に加え、これまでの寄付者などへのダイレクトメール送付で歳末義援金を募った。寄せられたのは817件1,031万円で前年度より54万円増。配食サービス車を贈るほか、公募助成金などをはじめとする公益事業1（国内外の福祉に関する事業）の資金として活用する。

* チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会

12月8～10日、毎日新聞ビル地下のオーバルホールで開催。3月末までの最終年間売上額は1,800万円で昨年比86万円減となった。この収益金から、70万円を歳末慰問金として次の7団体に贈呈したほか、公益事業1の資金として活用する。

なお、東日本大震災被災者支援コーナー（毎日希望奨学金に寄託）の売り上げ14万円は、公益事業3で活用。

（支払助成金より70万円を支出）

1. こどもの里（大阪市）	5万円
2. 大阪子どもの貧困アクショングループC P A O（同）	10万円
3. 大阪更生保護施設連盟（同）	5万円
4. 大阪家庭少年友の会（同）	5万円
5. 聖の家（児童養護施設・三重県多気町）	15万円
6. 八楽児童寮（同・愛知県新城市）	15万円
7. 若松学園（同・岐阜県山県市）	15万円

* 第51回歳末たすけあいチャリティーチャレンジ棋力認定戦

(支払助成金3万円、材料費として2万円を支出)

12月9日に大阪市北区で開催。収益の5万円で囲碁セット3組を製作し、漫画「ヒカルの碁」全12巻とともに、3月に鳥取県内の3児童福祉施設に贈呈した。スポーツニッポン新聞社、日本棋院が主催。本団の単独後援。

◎ 指定寄付金事業

(支払助成金より17万円を支出)

寄付金の中で助成先が特定された寄付金。「あしなが育英会に」「愛の手運動に」など、22件17万円が寄せられた。

◎ 機関紙「そよかぜ」の発行

(印刷製本費より24万円を支出)

「そよかぜ」51号を6月1日に8,000部発行、8月に2,000部を追加発行した。

その他の名義後援事業

とき	案件名	ところ
3月1日～5月31日 に募集。11月に表彰式	「第16回オンキヨー世界点字作文コンクール」の名義後援について	
4月8日	「第38回愛知県聴覚障害者体育大会」の名義後援と軟式野球競技優勝チームへの賞状贈呈について	豊橋市総合体育館など。
4月8日、15日、22日	「第55回全大阪ろう社会人軟式野球春季大会」の名義後援について	大阪府営久宝寺緑地軟式野球場・大阪市長居公園野球場
4月14日、5月12、19、20、27日	「平成30年度愛知県障害者スポーツ大会」の名義後援について	名古屋市千種区の星ヶ丘ボウル、豊田市運動公園陸上競技場など
4月19～21日	「バリアフリー2018」ー第24回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展ーの名義後援について	大阪市住之江区のインテックス大阪
4月1日～2019年3月	関西いのちの電話 第54期「電話相談ボランティア養成講座」の名義後援につて	大阪市淀川区の2社会福祉法人博愛社5階会議室など
4月26日～11月22日	「第15回名古屋市障害者スポーツ大会」の名義後援について	名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムなど
5月17～19日	「第21回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2018～」の名義後援について	名古屋市のポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)
5月27日	「第25回共生・共走りレマラソン」の名義後援について	大阪市鶴見区の花博記念公園・鶴見緑地内
6月2、3日	「第29回東海聴覚障害者体育大会」の名義後援に	岡崎市中央総合公園内、

	ついて	サンボウル
6月9日	「共に生きる22」の名義後援について	大阪府箕面市の市立メイプルホール大ホール
6月17日	「第36回日本ライトハウス チャリティコンサート」の名義後援について	大阪市北区のザ・シンフォニーホール
6月23日	「素のままフェスタ2018」の名義後援について	大阪府豊中市の市立アケア文化ホール
7月1日	「第35回愛知県聴覚障害者大会」の名義後援について	愛知県豊田市の豊田市福祉センター
7月7日～2019年2月10日	平成30年度「児童養護施設等入所児童及び里親委託児童に対する自立生活技術講習会(ソーシャル・スキル・トレーニング)」事業の名義後援について	大阪市天王寺区の大阪市立社会福祉センターなど
7月14日	平成30年度合同求人説明会「福祉の就職総合フェア2018 in OSAKA」の名義後援について	大阪市住之江区のインテックス大阪2号館
7月21、22日	「第31回全愛知ろう社会人軟式野球秋季大会 兼 第43回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会派遣選考会」の名義後援と楯の交付について	愛知県日進市の口論義運動公園野球場
7月31日～8月5日	「第39回子どもたちの讃歌展」の名義後援について	大阪市立美術館 地下展示室1・2
8月6～11日	「第35回土と水と緑の学校」の名義後援について	和歌山県新宮市の高田地区一帯
8月8日～9月8日	第4回全日本若手障害者リーダー育成留学“ターニングポイント@RYUGAKU”の名義後援について	国内と海外
8月30、31日	「第2回西陣工房オープンデー」の名義後援について	京都市北区、就労継続支援B型事業所 西陣工房
9月7日	「第68回施設従事者激励会」の名義後援について	大阪市天王寺区の大阪「新歌舞伎座」
9月30日	「第59回大阪知的障がい者福祉大会」の名義後援について	河内長野市の同市立文化会館
10月～11月	「第55回点字毎日文化賞」の名義後援について	毎日新聞東京本社(表彰式)
10月5～7日	「第43回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会」の後援について	大阪府吹田市の万博記念公園野球場・スポーツ広場
10月6日	「生き生き長寿フェア2018」の名義後援について	愛知県大府市、知多郡東浦町の「あいち健康の森公園」
10月13、14、20、21日	「第37回スポーツフェスタ2018大阪」の名義後援について	大阪市のヤンマースタジアム長居(長居陸上競技場)など
10月28日	「ファインエリアフェスティバル2018」の名義後援について	堺市南区の府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)など
10月28日	「第46回全大阪ろうあ者文化祭」の名義後援について	大阪市東住吉区の市立長居身体障がい者スポーツ

		センター
10月30日	「第66回愛知県社会福祉大会」の後援について	名古屋市中区のドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)
11月4日	「第63回名古屋市身体障害者福祉大会」の後援について	名古屋市中区の中区役所ホール
11月10日	「第54回肢体不自由児者を支援するチャリティバザー」の名義後援について	八尾市山城町の第1公園(買物公園)
11月22日	「第19回大阪救護施設合同文化事業」の名義後援について	大阪市都島区の「太閤園」迎賓館3階ダイヤモンドホール
11月23、24日	「ヘレン・ケラー女史没後50年を偲んで」の名義後援について	大阪市中央公会堂3階中集会室、特別室
11月30日	「平成30年度大阪府社会福祉大会」の名義後援について	大阪市天王寺区の大阪国際交流センター・大ホール
12月8日	「平成30年度 医療社会事業従事者講習会」の名義後援について	大阪市中央区の大阪府社会福祉会館403号室
12月9日	「第58回愛知県身体障害者福祉大会」の名義後援について	新城市の新城文化会館
2019年1月25～29日	「第38回『障がいのある子どもに学ぶ』図工展」の名義後援について	大阪市東淀川区のインクルーシブ教育推進室
2月6～11日(審査会は2月5日)	「第53回名古屋市障害者作品展示会」の後援について	名古屋市瑞穂区の名古屋市博物館ギャラリー第1、2、3、8室。
2月10日	安心して長期療養ができるように！難病患者の医療・福祉・介護を考える「府民のつどい」の名義後援について	大阪市中央区のエル・おおさか
2月15～17日	「2019国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会」の名義後援について	大阪市港区の丸善インテックアリーナ大阪
3月3日	「第37回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい」の名義後援について	愛知県稲沢市の名古屋文理大学文化フォーラム
3月9日	平成30年度 合同求人説明会「福祉の就職総合フェア SPRING in OSAKA」の名義後援について	大阪市住之江区のインテックス大阪2号館
写真展・3月8日～4月3日、フェスタ・3月21日	「世界ダウン症の日写真展in大阪2019」「ダウン症の日フェスタ」の名義後援について	大阪市西区の市立中央図書館1階エントランスホールギャラリー、5階会議室

公益事業 2 シンシア基金事業（事業種別 3）

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分 8）

◎シンシア基金（支払助成金より57万円を支出）

身体障害者をサポートする介助犬への理解を深め、育成や研究活動に役立てるため、1998年から阪神支局が始めたキャンペーンと連動して募金を開始した。

3月末までに寄せられた「シンシア基金」は27件145万円（前年36件94万円）となった。

身体障害者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の社会的認知を促進するため、毎日新聞社や兵庫県宝塚市などで行う実行委員会が主催する身体障害者補助犬シンポジウム（11月3日、宝塚市のソリオホール）の経費として57万円を支出した。

（助成（応募型）事業 事業区分13）

◎シンシア基金公募助成（支払助成金より50万円を支出）

身体障害者補助犬の支援に関わる団体などに公募助成を行う。11月に紙面で一般公募し、2019年1月29日に選考委員会を開催。申請のあった3団体の内2団体に50万円を贈呈した。

1. 兵庫介助犬協会（兵庫県西宮市） 30万円
2. 日本介助犬協会（本部は横浜市、訓練センターは愛知県長久手市） 20万円

その他の名義後援事業

◇「介助犬フェスタ2018」を名義後援＝5月19日、愛知県長久手市の愛・地球博記念公園内、地球市民センターで開催。日本介助犬協会の主催。

公益事業 3 災害救助に関する事業（事業種別 3）

◎災害救援基金事業

* 西日本豪雨災害救援金（支払助成金より4,000万円を支出）

※トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

* 北海道地震救援金（支払助成金より1,250万円）

※トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

* 熊本地震救援金（支払助成金より50万円）

3月末までに19件53万円が寄せられ、第5次分として50万円を日本赤十字社熊

本県支部に寄託した。贈呈総額は6,180万円となる。

◎東日本大震災救援事業

* 東日本大震災救援金 (支払助成金より100万円を支出)

3月末までに51件70万円が寄せられ、第17次分として、昨年度の繰越し額と併せて100万円を日本赤十字社に寄託した。贈呈総額は4億6,977万円となる。

* 毎日希望奨学金 (支払助成金より4,860万円を支出)

東日本大震災で保護者を亡くした震災遺児の学業を支える「毎日希望奨学金」(毎日新聞大阪・東京・西部の事業団、毎日新聞社で創設)は、8年目を迎え、奨学金基金への寄付を毎日新聞紙上などで呼びかけた。

(2011年度からの合計15,940件9億3,724万円：東京・西部両事業団分含む)

3月9日付朝刊で「奨学生募集」の社告を掲載するとともに、被災地の高校や大学などに直接照会をかけたところ、50人の募集枠に対して77人が応募。

5月7日に選考委員会が開かれ、全会一致で77人に支給が決定。奨学生数は継続者と合わせて203人(高校生95人、短大・大学・大学院生87人、専修学校生21人、10月より1人休学のため、最終数は202人)になった。1月までに4,860万円を支給した。

・4月25日、126人(4、5、6月分)	756万円を支給
・6月23日、77人(4、5、6月分)	462万円を支給
・7月25日、203人(7、8、9月分)	1,218万円を支給
・10月25日、202人(10、11、12月分1人休学)	1,212万円を支給
・1月25日、202人(1、2、3月分 同)	1,212万円を支給

合計4,860万円

その他の名義後援事業

◇「大阪城JAZZ Festival 2018」を名義後援＝6月2、3日、大阪市中央区の大阪城野外音楽堂で開催。会場内に募金箱を設置し、熊本地震救援金に寄託した。大阪城Jazz Festival実行委員会の主催。

公益事業 4 国際協力に関する事業（事業種別 15.16）

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分 8）

◎世界子ども救援キャンペーン（委託費より229万円を支出）

※トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

国際児童年（1979年）に毎日新聞社との共催で「飢餓・貧困・難民救済キャンペーン」としてスタート。毎年記者を海外に派遣し続け、延べ81班が59カ国・地域を訪れ、帰国後の紙面展開で救援をアピールしている。

取材経費は大阪、東京、西部の事業団で分担し、本団からは229万円を支出。

なお、本キャンペーンは2019年3月26日に、国際交流・国際貢献報道部門で優れた報道を顕彰する第26回坂田記念ジャーナリズム賞を受賞した。

* 報道写真展を開催

今回の取材をもとに、報道写真展「暴虐の傷痕～イラク I S 後」（カラー写真33枚）を京都市北区の立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館1階ギャラリー（11月27日～12月20日）で開催。また、大阪市北区の堂島アバンザ1階エントランスホール（2019年2月6～11日）でも開催した。

また、前年の取材をもとにした、報道写真展「輝き探す闇～東南アジアの零細金採掘」（カラー写真33枚）も、大阪府茨木市の立命館大学大阪いばらきキャンパスOICライブラリー展示室（5月11～31日）と、和歌山県高野町の高野山真言宗総本山 金剛峯寺・高野山ギャラリー（6月19日～7月23日）で開催した。

* 世界子ども救援金

読者などから寄せられた「世界子ども救援金」は、3月末までに1件1,000万円を含む、668件1,805万円（前年417件773万円）が寄せられた。

広く一般から申請を受け付けた「公募助成」と、今回のキャンペーンで紙面掲載された地域や団体を中心にした「取材地助成」、これまでの取材地で引き続き必要と判断された「継続助成」の3つの支援を行う。いずれも活動内容、実績などから選考している。また、MH基金（2015年度の大口寄付金が原資）からの配分も今年で3年目を迎えた。

（助成（応募型）事業 事業区分13）

◎公募助成

5団体へ総額95万円を贈呈（支払助成金より95万円を支出）

1. マナムニ母子寮関西連絡所	20万円
2. シエラレオネフレンズ	20万円
3. ネパール・ヨードを支える会	20万円
4. ネパール震災プリタム実行委員会	20万円
5. ラリグラス	15万円

◎取材地助成

5 団体へ総額205万円を贈呈 (支払助成金より205万円を支出)

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1. J I M-N E T (日本イラク医療支援ネットワーク) | 60万円 |
| 2. 国境なき医師団日本 | 60万円 |
| 3. O u r B r i d g e (ハルマン孤児院支援) | 30万円 |
| 4. 高遠菜穂子 (ピース・セル・プロジェクト) | 30万円 |
| 5. 日本国際ボランティアセンター (J V C) | 25万円 |

◎継続助成

3 団体へ100万円を贈呈 (支払助成金より100万円を支出)

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. E D A Y A | 20万円 |
| 2. 国際連合世界食糧計画W F P 協会 | 30万円 |
| 3. 国連U N H C R 協会 | 50万円 |

2018 (平成30) 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2019 (令和元) 年 5 月

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団
以 上